

# 抗原簡易キットの使用法

## ■ キットの保存

- ・キットは、直射日光を避け、1～30℃で保存してください。
- ・幼児の手の届かない場所に保管してください。
- ・反応カセットの入ったアルミ袋は、使用前まで開封しないでください。
- ・キットやチューブの溶液は、皮膚への付着・目や口へ入らないよう注意してください。

## 1 検査用品の準備

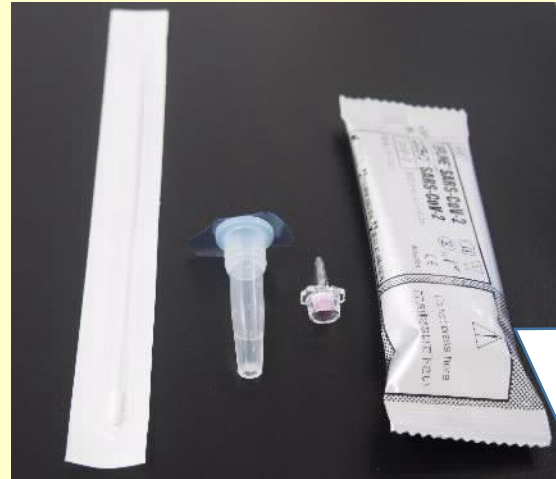
- ☐ 綿棒
- ☐ チューブ
- ☐ 滴下チップ(キャップ)
- ☐ 検査キット

市町村から配布

- ・キットを冷蔵保存していた場合、使用前に室温(20～37℃)に戻したあと、袋から取り出してください。
- ・キットは極めて燃焼性が高いため、火気の近くでは使用しないでください。

- ☐ 手袋(可能な限り着用)
- ☐ ゴミ袋
- ☐ タイマー

各家庭で準備



綿棒 チューブ 滴下チップ 検査キット  
(キャップ) (反応カセット)



## 2 検体採取

綿棒を用いて、鼻腔ぬぐい液を採取します。

- ① 綿棒を鼻孔入り口から 2cm 程度、粘膜部分をぬぐうようにしてゆっくり挿入します。



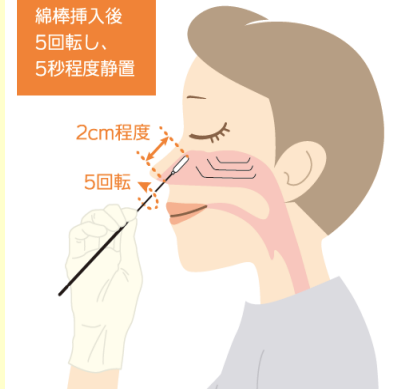
- ② 綿棒を 5回程度ゆっくり回転 させます。



- ③ 5秒程度静置し、綿球を十分湿らせた後、そっと引き抜きます。

綿棒挿入後  
5回転し、  
5秒程度静置

2cm程度  
5回転



## 3 検体の抽出

- ① チューブの蓋(シール)を、中の液がこぼれないよう注意しながらはがし、綿棒をチューブに浸します。



- ② チューブの周りから 綿球をはさみ、もみながら

綿棒を 10 回程度回転 させます。



- ③ 綿球から液をしぼり出しながら、綿棒を取り出します。  
綿棒はゴミ袋に処分します。



- ④ 滴下チップ(キャップ)をチューブにはめ込み、横にして、

5分静置 します(タイマーなどで時間をはかってください)。

綿棒を入  
れて 10 回  
程度回転



キャップを  
はめてから  
5 分間待つ



## 4 2滴たらし

- ① 5分経ったら、滴下チップ(キャップ)を付けたまま逆さにし、チューブを軽く押し、

液をキットの紫色の検体滴下部に2滴たらしめます。

最初に泡が出る場合は1滴ゴミ袋に捨ててから行ってください。

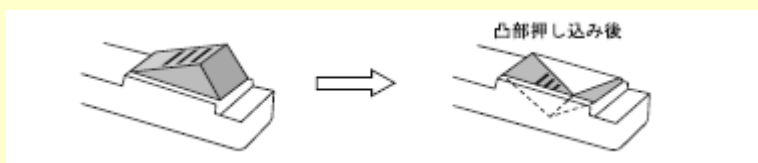
キットとキャップの先端を1cm以上離してたらししてください。



- ② オレンジ色のボタン(凸部)を上から

押し込み、凹ませます。

(すぐに押し込まないと反応しません。)



すぐに!



## 5 反応

30 分間待ちます。 (タイマーなどで時間をはかってください。)

## 6 判定

### ■ 判定例

r: レファレンスライン

T: 判定ライン



rライン判定ライン出現



rラインのみ出現



判定ラインのみ出現



○陽性 : rとTの両方に青色のラインが出現した場合

○陰性 : rに青色のラインが出現し、Tに何もラインが出現しなかった場合

○再検査 : rに青色のラインが出現しなかったり、反応前のピンク色ラインのままの場合、反応が正常に行われなかった可能性があります(判定不能)。キットがもう一つある場合は、検査方法を再確認の上、もう一度検査をお願いします。

### ■ 参考資料

検体採取や検査の方法は、メーカーのホームページに動画で掲載されていますので、御確認の上実施してください。

【富士レビオ(株)】

<https://www.fujirebio.co.jp/products/espline/sars-cov-2/index.html>

